

## 令和元年度(平成31年度)地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	歩ける木曾路再生プロジェクト
事業主体 (連絡先)	木曾町 日義支所 義仲の里振興課 (0264-26-2301)
事業区分	(6) 産業振興、雇用拡大に関する事業 ア特色ある観光地づくり
事業タイプ	ハード・ソフト
総事業費	620,620円(うち支援金:469,000円)

### 事業内容

○既設の説明看板は老朽化が進み、中山道を歩く観光客に対して親切な案内がされておらず、また近年外国人も多く歩いていることから、国内外の観光客が観光しやすい環境とするため、日義地域内の説明看板5枚を修繕し、景観整備を行うとともに英語表記を各看板下部へ追加表記した。

○中山道を歩いている観光客へスムーズな観光案内を提供するため、中山道沿いに近い指定管理施設である義仲館、道の駅日義木曾駒高原へ1台ずつタブレットを設置した。また、翻訳用アプリをインストールすることで、外国人に対してもスムーズに対応できる環境に整備した。

### 事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

○中山道沿いを中心とした説明看板5枚を修繕することで、景観向上と安全性の確保が図れたことと、英訳看板を追加することで外国人観光客に対して分かりやすい説明となり、史跡案内の充実が図られた。

○義仲館、道の駅にタブレットを導入したことで、観光客が求める情報に対して適確な案内が可能となった。

○翻訳アプリを活用することで、外国人観光客に対してもスムーズな観光案内を行うことができる環境を整えることができた。

### 今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

○今後、まち・ひと・しごと創生総合戦略に基づく義仲館リニューアル工事を始めとした観光施設の整備を行うことで、中山道からの観光客の動線を確立し、今回実施した事業との相乗効果により観光客の増加を図る。

※自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある



【英語表記を追加した看板】

### 【目標・ねらい】

- ① 観光客の増加
- ② インバウンド対策
- ③ 観光案内サービスの向上
- ④ 景観整備

### ※自己評価【C】

#### 【理由】

- ・宮ノ越宿入込客のKPIとした義仲館の来場者数が、権兵衛峠通行止め等の影響もあり、目標値を達成できず、昨年よりも6.8%減少してしまった。